令和4年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立小田川小学校長

令和4年4月19日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

(2) 教科の平均正答率比較表

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	65.6%				○	
算数	63.2%	○				
理科	63.3%			○		

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	69.0%					○
我が国の言語文化に関する事項	77.9%					○
話すこと・聞くこと	66.2%	○				
書くこと	48.5%					○
読むこと	66.6%	○				

【考 察】

- 「我が国の言語文化に関する事項」の領域では、漢字を文中で正しく使って書くことができていました。また、「書くこと」の領域では、文章全体の構成や書き表し方に着目して、文を整えて書くことができていました。今後も、学校生活全体を通して条件に合わせて書く活動を多く設定するとともに、読書活動を充実させることで言葉の理解を深め、条件に合わせた書く力を伸ばしていきます。
- 「読むこと」の領域では、人物像や物語の全体像を具体的に想像することについては理解できていましたが、登場人物の相互関係について、描写をもとに捉えることに課題が見られました。今後は、特に物語文の学習において、描写をもとに登場人物の相互関係について捉える学習活動を授業の中に設定していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	69.8%	○				
図形	64.0%	○				
変化と関係	51.3%	○				
データの活用	68.7%	○				

【考 察】

- 「変化と関係」の領域では、数量は変わっても割合の大きさは変わらないことや、比例の関係を用いて未知の数量の求め方について考えを記述することに課題が見られました。今後は、異なる二つの数量関係に着目させ、割合を用いた比べ方や表し方ができるように繰り返し指導していきます。
- 「図形」の領域では、示された手順をもとに、作図される図形を選択することに課題が見られました。今後は、プログラミング学習も取り入れながら、示された手順通りに作図を行う学習活動を取り入れ、着実に知識・技能が身に付くように指導していきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	51.6%				○	
粒 子	60.4%					○
生 命	75.0%	○				
地 球	64.6%	○				

【考 察】

- 「粒子」の領域では、理科の実験器具の名称や使い方を正しく理解することや実験結果をもとに問題に対する自分の考えをもつことができました。今後も、実験の学習では、実験器具の名称や使い方を指導するとともに、実験に対する自分の考えをもたせる機会を多く取り入れていきます。
- 「生命」の領域では、昆虫の体のつくりに対して課題が見られました。昆虫を含め、生物の体のつくりについて、人の体のつくりと比較させながら、指導を行っていきます。